

地域の不妊治療を支える 胚培養士育成に向けて

～学部間融合教育による生殖医療分野の高度人材育成の新たな取り組み～

令和4年6月16日（木） 大村記念ホール
13:00 ～ 15:40

シンポジウムスケジュール

- | | |
|-------------|---|
| 13:00-13:05 | 開会のあいさつ
島田 眞路 山梨大学学長 |
| 13:05-13:15 | 高度生殖補助技術センター設置の趣旨について
清水 一彦 山梨大学理事・副学長 |
| 13:15-13:25 | 高度生殖補助技術センターの活動
岸上 哲士 山梨大学高度生殖補助技術センター長 |
| 13:25-14:00 | 不妊治療の現状と課題
平田 修司 山梨大学医学部長・産婦人科教授 |
| 14:00-14:25 | 不妊治療における胚培養士の重要性と育成の課題
笠井 剛 このはな産婦人科リプロ外来担当医師・
山梨大学大学院医工農学総合教育部非常勤講師 |
| 14:25-14:35 | 胚培養士という仕事を始めて
飯窪 郁江 このはな産婦人科胚培養士 |
| 14:35-15:15 | 生き生きとした胚培養士人生を送るために
沖津 摂 楠原ウィメンズクリニック 培養室長 |
| 15:15-15:35 | 顕微授精を可能にしたマイクロマニピュレータ
若山 照彦 山梨大学発生工学研究センター長 |
| 15:35-15:40 | 閉会のあいさつ
奥田 徹 山梨大学生命環境学部長 |